

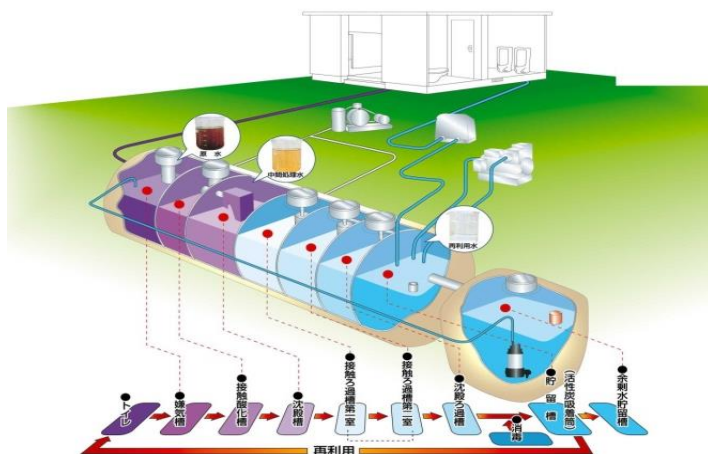
広島県の環境浄化産業クラスター形成事業での発掘シーズが スリランカでのビジネス化を目指します。(3例目)

～永和国土環境(株)・(株)八杉商店共同企業体、JICA 調査事業に採択～

国際協力機構(JICA)は「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」において、永和国土環境株式会社(広島県福山市、岡本良一代表取締役社長)と株式会社八杉商店(福山市、八杉陽一郎代表取締役)の共同企業体が提案する「カキ殻を活用した自己処理型水洗式バイオトイレの導入に関する案件化調査」を採択しました。

スリランカでは、30年近く続いた紛争が2009年5月に終結したことを受け、復興需要を中心とした内需拡大や、治安回復に伴う外国人観光客の増加が成長を牽引しており、GDP比8%前後の高い経済成長が続いています。スリランカ政府は、その開発計画で2.5%台に留まっていた下水道普及率を2020年までに7.0%に引き上げることを目指し、下水道整備による湖、河川の水質汚濁の防止を含む環境保全や生活水準の改善に取り組んでいます。

永和国土環境(株)は、自社開発したカキ殻を活用した汚水処理システム(製品名:アクアメイク、公共施設や工場などのトイレを国内、国外で数多く設置した実績を持つ)をもってスリランカの自治体向けの水ビジネスを将来構想とする提案を行い、採択されました。同社の製品は、合併浄化槽と3次処理槽から成り、カキ殻、ゼオライト及び活性炭を使用する後者の槽が高度な水質浄化を行い、さらに処理した排水を放流することなく水洗トイレで再利用する水循環を行うという特徴を有しています。



アクアメイク概略 (図: 永和国土環境提供)

本調査の対象自治体であるスリランカ中部のキャンディ市(世界文化遺産を有する国内第2の都市)では現在進行中のキャンディ市下水道整備事業(円借款:2010～実施中)や水質管理能力向上プロジェクト(技術協力プロジェクト:2015～実施中)により下水処理システムの脆弱性克服が図られており、これら協力との補完的効果が期待されます。

※この調査は、日本の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～案件化調査～」として実施されます。案件化調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等の支援を目的としたもので、2012年度から実施しており、2015年度第2回分は昨年9月に公示を行いました。120件の応募のうち34件が採択され、契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

●参考:(プレスリリース) 案件化調査2015年度第2回公示の採択結果について

URL: http://www.jica.go.jp/announce/notice/investigation/ku57pq00001moz9h-att/investigation_201502_result.pdf

以上

【本件に関する問い合わせ・申込み先】

JICA 中国 総務課 担当: 西山、中村
 TEL: 082-421-6300 FAX: 082-420-8082
 E-mail: cictad@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ
 元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

